

Labo News

新春を迎えて



愛知県知事 大村 秀章

らぼ ニュース

発行所 社団法人愛知県臨床衛生検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座 731-677
 発行人 松本 祐之
 編集人 堀 隆彦

No.370 目次

- ◆年頭挨拶 大村秀章…………… (1)
- ◆年頭挨拶 加藤 欽一…………… (2)
- ◆年頭挨拶 松本祐之…………… (2)
- ◆スキルアップ研修会報告…………… (3)
- ◆管理運営研修会に参加して…………… (4)
- ◆愛臨技精度管理「結果検討会」に参加して… (4)
- ◆健康・キレイ応援フェスタに参加して… (5)
- ◆世界エイズデー in NAGOYA 2012
パレードに参加して…………… (6)
- ◆尾張東地区だより…………… (7)
- ◆愛知県大腸がん検診従事者講習会…………… (8)
- ◆尾張南地区研修会…………… (8)
- ◆地名読み方教室…………… (8)
- ◆講演会…………… (9)
- ◆第10回 西三河がんフォーラム…………… (9)
- ◆AICCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信 (第16回)…………… (10)

あけましておめでとうございます。
 昨年、長期化する円高、中国等をめぐる対外環境の変調、大震災からの復興など、国内外の課題が山積する中、愛知が、日本のど真ん中から国を支え、引っ張っていくとの決意のもと全力で県政運営に当たってまいりました。
 今年は、さらに、明るい希望が持てる、活力と豊かさに満ちた愛知づくりに邁進してまいります。
 世界と闘える愛知の実現に向け、企業立地や研究開発に対する支援、自動車産業の競争力強化、航空宇宙産業を始めとする次世代産業の育成、中小企業の振興など、日本一の産業力に一層の磨きをかけてまいります。
 また、観光や農林水産業の活性化、社会基盤整備、東三河県庁を核とした地域振興などにも拍車をかけるとともに、地震防災対策、交通安全対策、医療・福祉の充実、教育、ものづくり人材の育成などにもしっかりと取り組みます。
 そして、今年は、「あいちトリエンナーレ2013」を開催します。また、翌年には、「持続発展教育 (ESD) に関するユネスコ世界会議」も控えています。しっかりと準備を進め、地域の活力を生み出す原動力としてまいります。
 引き続き、厳しい財政状況が続きますが、徹底した行財政改革を進め、愛知の更なる発展に向けて全力で取り組んでまいります。

一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。
 平成二十五年元旦

新年を迎えて



愛知県健康福祉部
健康担当局長
加藤 欽一

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

本県の健康福祉行政の推進につきましては、日ごろから格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴会は、昭和62年4月に本県の認可を受けて社団法人として活動を始められ、これまで25年以上の長きにわたり、臨床検査及び衛生検査に携わる県内唯一の技術者団体として、知識及び技術の研さんや衛生思想の啓発を通じて県民の健康の保持及び増進に貢献してこられました。こうした実績から、平成24

年10月には愛知県公益認定等審議会から公益法人へ移行する基準に適合しているとの答申がなされました。本年4月には公益社団法人として、新たな一步を踏み出そうとされております。県としても、ここに、あらためてお慶び申し上げますとともに、今後の更なる御活躍を大いに期待しております。

また、会員の皆様方におかれましては、従来からスキルアップ研修会等への積極的な参加を通じて自らの知識及び技術の向上、研さんに努められておられ、その御努力には敬意を表する次第であります。本年も引き続き、臨床検査の専門家としてその能力をより一層高められるとともに、公益社団法人の一員として、県民の健康の保持及び増進により一層御尽力いただきますようお願い申し上げます。

本県におきましても、県民の皆様の安全で快適な暮らしの実現に向けて、全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き皆様方の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の御健康と貴会の一層の御発展を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成25年 元旦

平成25年が明けて



社団法人
愛知県臨床衛生検査技師会
会長 **松本 祐之**

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、気持ちも新たに輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

当会は、昭和62年に法人格を取得し、県民の健康増進と公衆衛生の向上に力を注いでまいりました。また、平成20年12月1日に施行された「公益法人制度改革関連3法」に従い公益社団法人の取得を目指し、愛知県健康福祉部の指導を受け、昨年9月1日付にて移行認定申請において答申書を提出いたしました。現在は審査中ではありますが、本年4月1日に新法人制度での公益社団法人認定に向けて準備をしております。公益社団法人の認定後は、さらに透明性の高い運営を図るとともに、社会的にも認めら

れた団体として、①精度の高い臨床検査を提供するための、専門的知識・技能の普及や人材の育成、②医療関連施設への臨床検査精度向上の推進および支援、③県民の健康増進と衛生思想の普及啓発を行って行く所存であります。

また、日臨技では、昨年5月の総会より新体制となり、関連団体との連携をはじめ、「未来構想策定に関する検討委員会」、「チーム医療推進検討委員会」、「学術組織再構築に関する検討委員会」や「渉法問題対策委員会」などが立ち上がり、今後の人材育成並びに臨床検査技師の地位向上に向け活動が進み始めました。当会としても日臨技と協働し、未来を担う臨床検査技師育成に貢献して行きたいと思っております。

新年を迎え、役員一同心新たに、愛知県下の医療の質の向上ならびに当会の更なる発展のために活動していく所存です。

会員の皆様には、これまで同様にご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、平成25年が会員の皆様にとって良き年でありますように心からお祈り申し上げます。

平成25年 元旦

スキルアップ研修会報告

学術部長 中根 生弥

平成24年度学術部研究班合同企画によるスキルアップ研修会が、11月25日(日) 9:00より名古屋大学医学部基礎医学研究棟4階第4講義室にて開催された。参加人数は251名(一般参加:225名、非会員:8名、企業参加:4名、講師関連:4名、学生:10名)であった。

今回は「心臓」をテーマにしたスキルアップ研修会であり、各研究班より心病変を病理組織・生化学データ・超音波画像を中心に日常業務でのポイントを解説した。ランチョンセミナーでは関西電力病院の佐藤 洋技師より「血管エコー」について講演とライブデモストレーションにて講演いただいた。午後からの教育講演では聖マリアンナ医科大学の長田尚彦先生に「心臓リハビリテーションの最新の話」を、最後に名古屋大学大学院の近藤隆久教授による特別講演「肺高血圧症の診断を考える」についてご講演いただき、大変有意義な研修会を開催することができた。

参加者には、心病態を広い視点で理解し、日常検査に即応できるスキルを養う絶好の機会であり、心疾患の総合的な知識と技術が習得できたのではないかと思う。



セミナー会場風景



超音波検査ライブ・デモ(佐藤 洋 技師)



生理検査研究班(余語保則 技師)



教育講演(長田尚彦 先生)



特別講演(近藤隆久 先生)

スキルアップ研修会に参加して

豊田厚生病院 成瀬 文子

11月25日に名古屋大学医学部基礎医学研究棟にて、臓器別研修会として肝臓・腎臓に続き、今年は心臓を中心にスキルアップ研修会が開催されました。今年のテーマは『循環器疾患』で、前回同様参加者は約250名と非常に多く、関心の高さがうかがえました。

今回は、循環器病態における基礎から最新のトピックスまでを生化学、生理、病理それぞれの分野の研究班から解説していただいた後、ランチョンセミナーでは「足から判る心疾患、腹部疾患」と題して、たくさんの症例提示や解りやすい講義に加えて、ライブデモも行われ、とても参考になりました。

教育講演「心臓リハビリテーションの最近の話題」では、心臓をより総合的に評価することの重要性や、特別講演の「肺高血圧症の診断を考える」では膠原病との関わりあいについても詳しく説明いただき、心臓に関する理解がより深まりました。

今回の研修会に参加して心臓を多角的に理解し、日常および当直業務における総合的な知識を得ることが出来ました。今後の検査に役立てたいと思います。

管理運営研修会に参加して

豊田厚生病院 山崎 良兼

2012年度診療報酬改定による「感染防止対策加算」(加算1:400点 加算2:100点、地域連携加算:100点)が新設されたことに関し、①アンケート調査報告、②感染防止対策加算の現状報告、③検査室管理者或いはICTや微生物担当者に課せられた危機管理をテーマに講演を頂いた。

協議会の行ったアンケート調査報告では、加算1:33施設、加算2:13施設と、回答したほとんどの施設で加算申請を行っており、加算要件の中で重要なカンファレンスの活動内容は多岐に渡り、各施設で試行錯誤の中での活動が何え、早い時期での運用確立の必要性を感じた。

講演1ではBD社学術担当者の加算現状報告の中で、技師の専任の概念は日々5割以上の感染対策業務にあたる必要性があるとの事で、活動内容も含め、今後来るであろう監査に備え、日報等の記録の必要性が生ずるとのことであった。加算での大きな収益に関して、増員やシステム化に向けての働きかけも容易となった事例もあるとの報告で、今後、病院管理者側へのアピール材料として参考となった。また、BD社として、微生物検査に関わる情報提供やサポ

ート体制の充実に向けての今後の取り組みを聞いたが、早い時期での実現を望みたい。

講演2では、経験豊富な厚生連の犬塚氏に自身の経験した事例をもとに地域連携の重要性と、検査管理者、ICTや微生物担当者に課せられる危機管理についてお話頂いたが、技師の役割として迅速かつ適切な判断の基での結果報告により、効果的感染防御と治療に繋がり、アウトブレイクを阻止できること、また、院内感染の発生時、施設全体として感染防御に対してどのような対応をすべきか、検査管理者として何をすべきかを知ることが出来、有意義な講演会であった。

今回当院で経験したVRE発生において、アウトブレイクを阻止できたのは、まさに地域連携における情報の共有化の中での迅速な初動対応にあったと感じている。市中のVRE保菌者の存在が大きく示唆される中、いずれの施設でも起こりうる事象であり、病院全体としての日々の感染防御に向けての対策の励行と、微生物検査室及び個々の資質の嵩上げの必要性を訴えたい。

愛臨技精度管理「結果検討会」に参加して

豊川市民病院 松岡 好之

平成24年11月12日(月)18時30分よりウインクあいちにて精度管理結果検討会が開催されました。初めて参加させて頂く検討会でしたが、精度管理の結果を受けての参加であった為、後悔と反省の念を持っての参加でした。しかし、いざ会場に入ると、まだ開始前にも関わらず意見交換をしている姿が各テーブルで見られ、参加者の前向きな姿勢に曇っていた気持ちもすっかり吹き飛びました。

部門毎のテーブルに分かれて行われた検討会では、班員の方が施設ごとに資料を用意して下さり、今回の評価のポイントや出題の意図について丁寧に説明して頂きました。また他の参加者とも今回の精度管理の問題点や、日常業務の疑問についても意見交換することが出来ました。班員、参加者の熱意を感じた検討会であり、大変良い刺激を受けることが出来ました。今回の経験を日常業務に活かしていきたいと思えます。

健康・キレイ応援フェスタに参加して

豊川市民病院 都築 菜美

11月24、25日にスギ薬局グループ主催「第2回健康・キレイ応援フェスタ」が名古屋市中心企業振興会館（吹上ホール）にて行われました。80以上の有名企業が出展しており、製品紹介、血管年齢や骨密度測定、ネイル体験など、スタッフとして参加したはずの私も心惹かれてしまうほどの多彩な催し物がありました。子供向けコーナーとして薬剤師お仕事体験や料理教室などもあり、家族みんなで楽しめるイベントとなっていました。

健康ゾーンにブースを構えた愛臨技では、検診受診の啓発として「がん細胞を見てみよう」と題し、来場者に乳がん・子宮頸がん細胞を顕微鏡で実際に見ていただきました。がん発生のメカニズムや、早期発見・早期治療できれば予後良好であること、そのためには定期的な検診が大切であることを同時に説明しました。

私自身の検診体験談も交えて話すと、受けようと思いつつも躊躇し続けていた同世代の女性は「私も受けに行ってきます！」と喜んでくださいました。子宮頸がんは20～30代に増えていることを説明すると「帰ったら娘にも話すね」と言ってくださる方もみえました。

ステージで行われていたヒーローショーの音声に負けないくらいの声で長時間にわたり説明や呼び込みを行ったため、のどはガラガラになってしまいましたが、一般の方々の様々な声を聞くことができ、有意義な時間を過ごせました。このような活動を通じて、がんに対する意識や理解、検診受診率の向上に繋がることを期待しています。



STOP! AIDS

世界エイズデー in NAGOYA 2012 パレードに参加して

組織部 所 嘉朗

12月1日に開催されました「世界エイズデー in NAGOYA 2012」に参加しましたので報告いたします。会場は例年どおり名古屋市栄の名古屋三越北側の栄広場で、街路樹のイルミネーションなどで夜景がとてもきれいでした。空気は冷たく、急に寒気が押し寄せた日でしたが、5時から20名近くの愛臨技会員で400部の啓発資料を配布し、30分程度で終了しました。愛臨技の黄色のブルゾンを着用し、往來する県民にエイズに対する正しい理解とHIV抗体検査をもっと受けるようにアピールしつつ資料を配布しました。その後、プログラムに従い6時から音楽集會、7時から周辺道路のパレード、8時から8時30分までは追悼集會が順次実施されました。参加団体は我々医療団体を含め20団体でした。

愛臨技は、このイベントに2007年から参加していて、今年で6回目、私が組織部を担当してから4回

目となります。2011年の推計では、世界のHIV陽性者数3400万人（3140万～3590万人）、年間新規HIV感染者数250万人（220万～280万人）、エイズ関連の年間死者数170万人（150万～190万人）となっています。世界的にはエイズ対策の進展により、多くの人が救われているようです。一方、日本ではHIV感染者もエイズも増えています。資料の配布やパレードをしていて感ずることは、「エイズ」や「HIV」という言葉にあまり反応がなく、この疾患への無関心化が危惧されます。HIV抗体検査を受けなかったばかりにエイズを発症してしまうことはとても残念なことです。

医療に携わる一員として機会があるたびに、感染の危険性がある方はHIV抗体検査をうけるように勧めることとエイズに対する理解をアピールしてゆきたいと深く感じました。



尾張東地区だより

今回は、自称？お城大好き！！戦国時代の歴史大好き！！の日進おりと病院 小木曾美紀が日進市にある岩崎城と日進の戦国時代についてお伝えします。岩崎城は小規模なお城ですが、日進市のほぼ中央にあり、まちのシンボルとして親しまれています。

享祿二年（1529）頃に、織田信秀（信長の父）によって築城され後に松平清康（家康の祖父）が岩崎城を奪いましたが、その死後丹羽氏清が本郷城より入城し以来、丹羽氏約60年の拠点となりました。

天正十年（1583）、本能寺の変での信長の死後、羽柴秀吉は信長の後継者としての地位を築きつつありました。これを不満とする信長の二男信雄（のぶかつ）が徳川家康に援軍を頼み、天正十二年（1584）3月、小牧・長久手の戦いが始まりました。こう着状態の中、秀吉方の武将・池田恒興が、家康の本拠の岡崎城を攻撃するため小牧を出発、岩崎城の近くを通過しようとしていました。

しかし家康方であった丹羽氏重は、約300の兵で15000（諸説あり）の池田恒興軍に岩崎城から出撃し戦いを挑みました。結果、丹羽軍は全滅。岩崎城も陥落しました。（岩崎城の戦い）その頃、小牧から丹羽氏次（氏重の兄）を先導役に追撃してきた徳川勢が羽柴勢の最後尾に追いつき戦いを始めその後、長久手で決戦となり、徳川・織田方の勝利に終わりました。

そんな戦国時代の歴史を感じることができる岩崎城は高台にあり、城の展望台から見る眺めは、日進市を一望することができます。また公園内には、もっと歴史を知ることができる岩崎城歴史記念館、2種類の音を楽しめる水琴窟、6世紀ころ造られたと推定される円墳（古墳）もあり、散策しながら城と歴史が学べて、お城マニアにとっては最高の場所ではないかと思います。忙しい業務の中、息抜きとして是非一度、岩崎城を散策してみませんか？



岩崎城



城の展望台からの眺め



岩崎城古墳

愛知県大腸がん検診従事者講習会

日時：平成25年2月27日(水) 13:30～16:00
場所：愛知県がんセンター

国際交流センター大会議室

講演1：免疫学的便潜血検査の現状と今後の課題

講師：名古屋第二赤十字病院 安土みゆき

講演2：大腸癌のリスク要因・予防要因疫学研究的紹介

講師：愛知県がんセンター研究所 松尾恵太郎

司会：(公財)愛知県健康づくり振興事業団 中野 光代

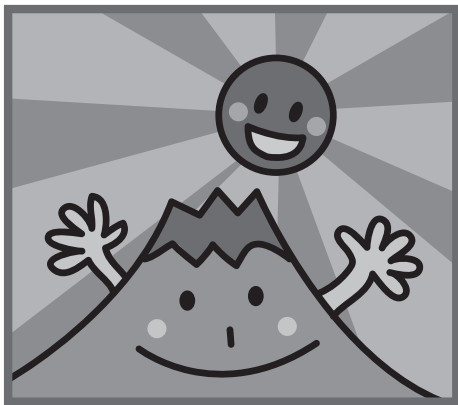
内容：松尾先生には、大腸癌のリスク要因・予防要因を探索する疫学研究を、特に愛知県がんセンターで実施している病院疫学研究的成果を中心に紹介していただきます。安土技師にはAicclsの活動を通じて、免疫学的便潜血検査の標準化の現状と今後の課題についてお話ししていただきます。皆様の多数のご参加をお待ちしています。

参加費：無料

申込方法：愛知県大腸がん検診従事者講習会参加希望と記入し、①施設名②施設の郵便番号と住所③電話番号④氏名を記入しFAXにてお申し込みください。

申込締切：平成25年2月21日(木)

連絡先：財団法人愛知県健康づくり振興事業団
診療検査部 中野、高橋
TEL：052-882-2961
FAX：052-882-2963



尾張南地区研修会

専門教科：20点

日時：平成25年2月23日(土) 15:30～17:00

場所：名古屋市立大学医学部研究棟講義室B

テーマ：肝炎の最新情報－肝臓に潜むウイルス－

講師：名古屋市立大学大学院医学研究科
ウイルス学教授 田中 靖人

司会：名古屋市立大学病院 中央臨床検査部
佐藤 茂

B型肝炎ウイルス(HBV)とC型肝炎ウイルス(HCV)はともに感染すると、肝炎を起こして、肝硬変、肝癌へと至る点は共通しているが、診断も治療も大きく異なる。B型肝炎のトピックスはHBV再活性化であり、臨床的に治癒していると思われたHBs抗原陰性例(HBc抗体陽性の既往感染例)においてHBVが再び増殖し、肝炎を引き起こす病態をde novo肝炎と呼び、大きな社会問題となっている。一方、C型肝炎のトピックスは、我々が報告したIL28B遺伝子検査があり、インターフェロン治療効果を高い確率(80%以上)で予測でき、先進医療として当病院中央臨床検査部に導入している。本講演では、肝炎の基礎知識から最新情報を講演していただきます。尾張南地区のみならず多数の参加をお待ちしています。

地名読み方教室 その6

烏森町

かすもりちょう

「名古屋市守山区」カラスの漢字は鳥より一本線が少ないのはカラスが黒くて目が分かりづらいため漢字が成り立っていく段階で目の部分の横棒すくなくなったとか？

志段味

しだみ

「名古屋市守山区」上志段味地区には未だ古墳が多く残されており、志段味古墳群、または上志段味古墳群と呼ばれ、いずれも4世紀から7世紀にかけて築造されたと考えられている。なお、名古屋市内の古墳のおよそ6割が守山区にあるとも言われている。

講演会

生殖医学検査研究班

専門教科：20点

日時：平成25年2月2日(土) 17:00～

場所：名古屋市中村区名駅4-6-17

名古屋ビルディング 4F ホール

(浅田レディース名古屋駅前クリニック
3Fの上)

テーマ：「本質から見たい不妊治療と体外培養」

講師：医療法人 浅田レディースクリニック
院長 浅田 義正

司会：豊橋市民病院 鈴木 範子

講演会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：平成25年2月9日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋市立大学医学部研究棟11階

講義室B

テーマ：病理分野における分子病理学的診断への
応用－現状と問題点－

講師：名古屋第一赤十字病院
細胞診分子病理診断部 郡司 昌治

司会：西尾市民病院 中村 広基

内容：近年、FISH法など病理部門にも遺伝子
検査が浸透しつつあります。それらにつ
いて、現状と問題点を解説いたします。
多数の参加をお待ちしております。

平成24年12月10日現在 正会員数 2,723名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録は
ホームページを御覧いただくか、事務所へ
お問合せください。

愛知県臨床衛生検査技師会
生涯教育認定登録団体研究会のご案内

第10回 西三河がんフォーラム

基礎教科：20点

日時：平成25年2月8日(金) 18:30～20:00

場所：安城更生病院 2階 講堂

テーマ：「乳がん化学療法について」

講師：がん研有明病院 乳腺内科部長

伊藤 良則 医師

司会：安城更生病院 外科代表部長第2診療部長

新井 利幸 医師

参加費：無料

内容：最近のがん化学療法の進歩は、新規抗がん剤と分子標的治療薬の導入、個別化治療の実践により生存成績は明らかに向上した。

施設間格差を少なくする均てん化とがん治療の質や治療成績向上を目指すことを目的の一つとして癌種ごとに診療ガイドラインが策定された。そのガイドラインの多くはほぼ一様にエビデンスに基づいて作成されており、一部コンセンサスを交えて標準的治療や日常診療として有用な治療法の指針が示されている。

このような実地臨床を実践していくためには医師・看護師・臨床検査技師等の多職種に渡って個々の患者を診る職種横断型のチーム医療が重要なポイントと考える。

お詫びと訂正

らぼニュース12月号6ページ知多地区研修会で名前の間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

半田市医師会健康管理センター

正 松浦 千秋

誤 杉浦 千秋

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信 (第16回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization：AiCCLS）は、今年度で設立10周年を迎えることとなりました。

12月1日に設立10周年記念式典が開催され、特別功勞表彰ならびに功勞表彰の表彰式が執り行われました。また、記念講演会として「臨床検査と精度管理」～凝固検査を中心に～と題して東海北陸ブロック血液センター高松所長に講演をしていただきました。凝固検査、とくにPT-INRは抗血栓療法のコントロールとして治療に密接な検査項目ですが、試薬や機器による施設間差があり今後の精度管理の課題として考えていかなければならないと思います。

下は記念式典、表彰式、記念講演会の写真です。

受賞者の皆様おめでとうございます。

特別功勞表彰：丹羽 脩、志賀捷浩、木澤仙次、荻津直通

功 勞 表 彰：妹尾淑郎、溝上雅史、横井 隆、高松純樹、

大根久美子、山口育男、谷 浩也（敬称略）

（AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会）



記念式典



志賀捷浩 氏



木澤仙次 氏



功勞表彰贈呈



記念講演会